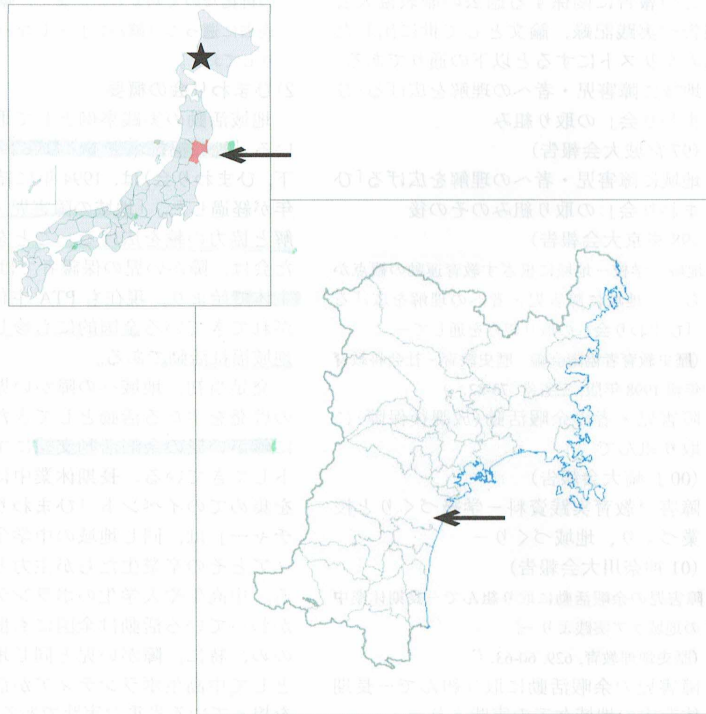


6

障がい児の余暇活動「親子プロ野球観戦」と経済危機



宮城県歴教協 仙台支部 高橋 誠

はじめに

この報告は、筆者がこれまで15年以上にわたってかかわってきた地域福祉活動の一部を報告するものである。この報告では地域福祉活動の背景についての情報を紙幅の関係で省略している、はじめに若干の補足しておく。

1) これまでの取り組み

この報告に関係する過去の歴教協大会報告や実践記録、論文として世に出したものをリストにすると以下の通りである。

- ・地域に障害児・者への理解を広げる「ひまわり会」の取り組み
(97 宮城大会報告)
- ・地域に障害児・者への理解を広げる「ひまわり会」の取り組みのその後
(98 東京大会報告)
- ・地域と学校ー地域に根ざす教育運動の観点からー地域に障害児・者への理解を広げる「ひまわり会」の取り組みを通してー。
(歴史教育者協議会編、歴史教育・社会科教育年報1998年版、三省堂、73-82。)
- ・障害児・者の余暇活動(放課後保障)に取り組んで
(00 長崎大会報告)
- ・障害児教育実践資料ー学級づくりと授業づくり、地域づくりー
(01 神奈川大会報告)
- ・障害児の余暇活動に取り組んでー長期休業中の地域ケア実践よりー。
(歴史地理教育、629/60-63。)
- ・障害児の余暇活動に取り組んでー長期休業中の地域ケアの実践よりー
(02 三重大会報告)
- ・地域と結びついた障害児学級の運営。
(清水貞夫・青木道忠・品川文雄編、通常学級の障害児教育ー「特別支援教育」時代の実践と課題を問う。2003、クリエイツかもがわ、51-72。)

- ・地域に根ざした小規模作業所づくりに取り組んで
(03 高知大会報告)
- ・地域と結びついた小規模作業所の運営
(04 山形大会報告)
- ・24歳で逝ったKさんが地域に遺した
もの
(08 東京大会報告)

※『宮城の歴史地理教育』は、歴教協大会報告の再掲なので割愛した。また、障害の表記を過去に遡って「障がい」としないことをお断りしておく。

2) ひまわり会の概要

地域活動の実践事例として取り上げている「**地域福祉ネット・ひまわり会**」(以下、ひまわり会)は、1994年に結成され15年が経過した。「**地域の障害児・者への理解と協力の輪を広げる**」ことを目的とした会は、障がい児の保護者ではなく、**PTA主体**で始まり、現在もPTA主体で引き継がれている全国的にも珍しい形態の地域福祉活動である。

発足当初、地域への障がい児・者理解の啓発を主たる活動としてきたが、徐々に**障がい児の余暇活動支援**に主力をシフトしてきている。長期休業中に障がい児を集めてのイベント「ひまわりアドベンチャー」は、同じ地域の中学生ボランティアとその卒業生たちが主力となっている。中高生や大学生のボランティアがかかわっている活動は全国にも散在するものの、特に、障がい児と同じ地域の一員として中高生ボランティアが活動の中心を担っている貴重な実践である。

昨年、2008年は「ひまわりアドベンチャー」10周年ということで何か目玉となる企画を考えていたところ「親子プロ野球観戦」を思い付いた。その実践と世界規模での経済危機による現状を報告する。

野球観戦はどう?

2007年の夏、「ひまわりアドベンチャー2007」を目前に控えたスタッフの面々は、打合せをしながら来年に控えた10周年の企画のことも考えていた。その席上、スタッフの一人が発言した。

「私、会社の福利厚生の担当で、講演会で楽天イーグルスの元GM、今は副社長かなんかだけど、マーティ・キーナートさんと呼んだのね。そのときに補佐役の人と面識できたから野球観戦に招待してもらおうのはどう?」

それは面白いと、マーティ・キーナート補佐の方にすぐに連絡をとり「ひまわり会」の活動内容が分かる資料を送って返事を待った。すると間もなく、楽天ベンチ真上の特等席10席を招待しますと返事をいただいた。障がい児を預かってボランティアとマンツーマンでも10席では5人しか招待できないが、まあいいか、と気楽に受け止めて年度が替わった。

禍を転じて福となす

新年度(2008)を迎えて、連絡が来るはずの楽天イーグルスからシーズンも始まるというのに何の音沙汰もなかった。業を煮やして球団に電話をすると…

「担当の〇〇は異動しまして～」

引継ぎがされていなかったために全てご破算となってしまった。みんなに何と伝えようと落ち込んでいたら、その日のうちに球団から電話が入った。

「資料を読みました。大変失礼をしました。〇〇がお約束したベンチ上の10席は無理ですが、企業が買い取った座席を福祉関係団体に向けてご招待をしている共同募金会に事情を話して最大50席までご用意させていただきます。ご希望の期日はございますか…」

天にも昇る気持ちで、家族単位ならボ

ランティアも少数精鋭で済むので引率可能な30名を3回ご招待いただけるようにお願いした。こうして「親子プロ野球観戦」が実現することとなった。

2004年、球界再編

遡ること5年前、2004年6月13日の近鉄とオリックスの合併報道に端を発して日本中の目がプロ野球に注がれていた。縮小して1リーグ制を選択するのか、新たなチームが誕生して2リーグ制を継続するのか。単なるプロ野球という興行の一つの業界の話ではなく、日本の野球文化の危機でもあった。

6月末にIT企業の時代の寵児、ホリエモンことライブドアの堀江社長が近鉄買収の意向を表明した。日本プロ野球選手会(労働組合:古田敦也委員長)が東京地裁に合併差し止めなどを求めた仮処分を申し立て、9月18、19両日、史上初のプロ野球のストライキが実施された。

ライブドアが宮城県仙台市宮城球場に本拠地を置く新球団を作ることを日本野球機構に加盟申請(仙台ライブドアフェニックス)。後を追って楽天の三木谷社長も宮城球場を本拠地に加盟申請した。

その秋、福岡ダイエーホークスはソフトバンクに買収され、プロ野球の経営母体がIT企業に占められていく新しい構図ができていった。

プレゼンテーションの結果、11月2日、楽天の新規参入が決定した。プロ野球への新規参入は50年ぶりであった。ここに「東北楽天ゴールデンイーグルス」(略称:楽天イーグルス)が誕生したのである。

親子で楽しめるボールパーク

半年で準備を終わらせ2005年4月には開幕戦を迎える宮城球場は老朽化が激しく大幅な改修工事を進めていた。その改

修構想には旧態依然とした日本プロ野球の各球場とは全く異なったコンセプトであるMLB(メジャー・リーグ)型のボールパーク構想が打ち出された。男性主導のスポーツと見られがちな野球を親子・家族・カップルで楽しめるものにするという構想である。今でも楽天のホームゲームの応援は鳴り物(トランペット)禁止、小さい太鼓1つに限定されて声援による応援が基本である。そのおかげで球音が心地よく響く中で野球を楽しめるプロ野球唯一の球場となっている。

楽天イーグルスは設立一年目から選手たちがポケットマネーでチャリティーシートを設け、企業もシートを買って福祉関係団体を招待する事業に取り組んでいた。筆者のかかわっている地域の小規模作業所フリースペース・ソレイコも10名単位で何度もご招待いただいてプロ野球観戦を楽しんでいた。

障がい児も十分楽しめるプロ野球

3回にわたる招待で、のべ21家族とボランティアの合計90名がプロ野球観戦を楽しませていただいた。当初、球場までの移動の大変さを心配していたが、このご招待では10名に2台の無料駐車券が付いてきた。乗り合わせの配車計画をするのと各家族や地域のボランティアは自家用車で来場できた。JRや地下鉄を乗り継いでくるだけでも特に自閉症の子には大変なので有り難いサービスであった。

また、引率教師の中には、障がい児がプロ野球を落ち着いて観戦できるのだろうか？飽きてしまうのではないかと不安視する声があったが、それは1回目の実施で見事に打ち消された。インギ間の様々なアトラクションは観客を楽しませ、球場の周囲は遊園地のように乗り物や遊具が用意されていて飽きるこ

うなかった。楽天のボールパーク構想は障がい児を抱える家族をも楽しませるエンターテイメントとしてのプロ野球を実現したのである。

3回の観戦すべて延長サヨナラ勝ち

ひまわり会がご招待いただいた2008年シーズンの3試合を楽天イーグルス公式ホームページの試合記録から以下に転載する。3回とも延長戦となり観戦に疲れて途中で帰った家族もあった。中には最後まで観戦して勝利の瞬間を味わった家族もあった。2008年のひまわり会ご招待の勝率1.000!

〈1回目〉

2008. 5. 17 (土) vs 埼玉西武戦

Kスタ宮城 (14:00)

6回戦 2勝 4敗 0分, 観客 14,265 人

L 000 000 011 000 2

E 100 000 001 001X 3

楽天イーグルスは12回裏、草野のサヨナラタイムリーで延長戦を制した。

初回、ヒットとフォアボールで2死満塁とすると、フェルナンデスのタイムリーヒットで先制点をあげる。先発のドミンゴは制球良く試合運び、7回まで無失点の好投。しかし8回に突如乱れて3連で満塁とされ、内野ゴロの間に1点を返されて同点。なおも9回には片岡の犠牲フライで勝ち越しをす。しかしその裏、高波の2ベースヒットとボカチカのエラーで1死3塁とし、渡辺直のスライズで点に追いつき試合は延長戦へ。

楽天イーグルスは12回裏、フォアボールを送りバントで1死2塁とし、途中から3番に入った草野レフト前へのヒット、バックホームを急いだレフト栗山が後逸している間にサヨナラのホームイン、時間を越える死闘を制した。10回途中からマウンドに上がり好投した川岸は、およそ3年ぶりの白星。

〈2回目〉

2008. 9. 27 (土) オリックス戦

Kスタ宮城 (14:00)

24回戦 10勝 13敗 1分, 観客 20,309 人

B 102 000 010 00 4

E 110 000 011 02X 6

楽天はフェルナンデスのサヨナラホームランで、4時間を超える延長戦を制し4連勝。

2点のビハインドで迎えた8回、楽天は山崎武のソロで1点差に詰め寄る。すると、最終回にはバエロズの守護神・加藤を攻め、渡辺直の安打、中村の犠打などで2死2塁。ここで、フェルナンデスが起死回生の同点タイムリー2ベースを放ち延長戦に突入。

その後、中継ぎ陣がしのぎ、迎えた11回、1死2塁からフェルナンデスが左翼席へ一発を叩き込み熱戦に終止符を打った。

〈3回目〉

2008. 10. 7 (火) ソフトバンク戦

Kスタ宮城 (18:00)

24回戦 12勝 12敗 0分, 観客 20,719 人

H 000 000 000 000 0

E 000 000 000 001X 1

楽天イーグルスは劇的なサヨナラ勝ちで、2008年シーズンの最終戦を飾った。

両チーム勝てば5位が確定する最終戦は、緊迫した投手戦に。2年連続の2ケタ勝利を狙う楽天・田中最多奪三振のタイトルがかかる福岡ソフトバンク・杉内の両先発が、一歩も譲らずゼロ行進。田中は気の投球で9回10奪三振も、味方の援護なく降板。試合は延長戦に突入。

両チーム決め手を欠き、引き分け目前の延長12回、1死1・2塁のピンチを脱した楽天。するとその裏先頭草野が2ベースを放つと、続く山崎武がレフト前に歓喜のサヨナラタイムリー。単独5位を決めた。

親子プロ野球観戦の感想

ひまわり会 会報第15号(2009.3.1)より以下に感想の一部を紹介する。

野球観戦

A小引率 B先生

当初予定していた8月の野球観戦が雨天中止となり、まちにまった振替試合の日。その日はなんと楽天イーグルスの最終戦でした。しかも対戦相手のホークスは、王監督の勇退試合でした。そのような試合でしたからチケットは、完売で、当日券なしという超満員でした。このような状況での野球観戦は一生に一度でしょう。子供たち以上に、大人も喜ぶ楽しい観戦でした。

C小 D子

私は、はじめて野球に行きました。音がうるさかったです。私がかえる時、楽天はまけていましたが、あとでかったと知りうれしかったです。

E小 F男

きのう、ぼくは、「らくてん」を見ました。おとうさん、おかあさんといっしょに、大きなやきゅうじょうで見ました。たのしかったです。

プロ野球は大人も子供も、障害の有無を問わずに楽しめるすばらしいエンターテイメントであると再認識した。

ひまわりアドベンチャー10周年企画「親子プロ野球観戦」は、障がい児の余暇活動支援に新たな可能性を開いた。

経済危機が招いたピンチ

前年度のご招待に気を良くしたひまわり会は2009年も3回のご招待を期待していた。ところが2008年の暮れごろ、球団

から委託されてチャリティーシートを福祉関係団体に提供している共同募金会から悲しい知らせが入った。

「ご存知のように世界規模の不況、経済危機で企業によるシートの買い取りが進みません。選手シートはあるのですが人数が4～6名と少ないのでひまわり会さんの規模には間に合いませんよね」

2008年、サブプライムローン問題から世界的な不況が一気に広がり、またたく間に日本国内にも波及してきた。自動車産業などに代表される派遣労働者の雇い止め、派遣切りが横行した。年末には年を越せない失業者のための年越し派遣村が各地に設けられた。何年前からワーキングプアの問題や企業が内部留保を溜め込み給与に還元しない問題が指摘されていた。それらと相まって一気に未曾有の経済危機に転じてしまった。

共同募金会からは、サッカーJ2の地元チーム「ベガルタ仙台」のご招待を勧められた。しかし、楽天イーグルスのような駐車券が付かないのでJRや地下鉄では1時間以上も移動にかかることや座席指定ではないのでまとまって座ることができないかもしれないこと、前半・後半それぞれ切れ目無く進むゲームを障がい児が観戦できるのかという問題がある。そのような事情を説明して丁重にお断りをしてし、企業のシート買い取りが進むことを祈りながら連絡を待つことにした。

2009年、1回だけのご招待

年度末の3月、ひまわり会総会で事情を説明し、障がい児の家族はとても残念があった。特に前年度、希望の期日が合わなくて参加を見送り、今年こそはと希望していた家族の落胆振りは大きかった。

年度が改まり、プロ野球も開幕した4月中頃、共同募金会から連絡が入った。

「今年は企業のシート買い取りの出足が鈍かったために、座席がまとまっていなくてバラバラです。それでも良ければ30席と選手シート6席の合計36席をご招待できます。しかし、今年度はこの1回限りになると思います。いかがしますか」

迷うことなく36席(駐車券7枚)をお願いした。前年度参加できなかった家族を優先的に招待し、引率教師やボランティアも極力削る方向で計画を立て直した。

おわりに

こうして2009年、おそらくこの1回だけになるであろうチャンスに9家族をご招待いただいた。

(4回目)

2009. 5. 16 (土) ソフトバンク戦

Kスタ宮城 (14:00)

8回戦 5勝3敗0分, 観客数 17,768人

H	1	0	0	0	0	0	0	0	1
E	0	0	0	0	2	0	0	X	2

楽天イーグルスは岩隈の今季初完投勝利で連敗ストップ。

楽天は1点のビハインドで迎えた6回、先頭の草野が四球で出塁すると、敵失、中村真の安打で1満塁と2番手の神内を攻め立てる。ここで岩隈を好リードで支える藤井がタイムリーを放ち、同点とる。さらに満塁から代打セギノールの犠牲フライで勝ち越しに成功。先発の岩隈は立ち上がりを捕られ、初回にオーティズにタイムリーを浴びて先制を許すも、その後は本来のピッチングを取り戻す中盤はほぼ完璧な内容でホークス打線をかかわすと、終盤のピンチも見事に切り抜けて今季初完投勝利。5勝目をマークし、チームの3連敗を阻止した。

ひまわり会「親子プロ野球観戦」全4戦の勝率はいまだ1.000!

団体の為にはお断り!

20. 9. 27 VS オリックス

ひまわり会 親子プロ野球観戦 (楽天球団ご招待ドリドリドリームシート) の様子より



ドリドリームシート(三塁側内野指定上段席)よりのKスタ宮城のパノラマ (↑ここから上へ3列分が、ひまわり会のシート)



ラッキースター7(7回裏) 球団歌の最後にジェット風船(200円)を飛ばす



内野を見下ろすアングル

12月 大人 2000円 子供 1500円
+ 2000円